

Lagrangian point

-To Form-

市ノ澤 萌々子 亀倉 知恵 箱山 朋実

主催・企画:愛知県立芸術大学 大崎研究室

オーガナイズ:大崎のぶゆき(愛知県立芸術大学准教授/美術家)

協力:Gallery PARC

2016年2月9日[火]~2月21日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで



Ichinosawa Momoko



Kamekura Chie



Hakoyama Tomomi

ラ グ ラ ン ジ ュ ポ イ ン ト - ト ウ ー ・ フ ォ ー ム -

本展は愛知県立芸術大学油画専攻の在学および卒業生による展覧会として企画したものであり、日本の中間地点「愛知」という場所を「ラグランジュポイント」と名付け、彼らが思考したこと、表現しつつあるものを紹介する企画です。

3回目となる本展では、副題を「トゥー・フォーム」として絵画や版画、インスタレーションを展開する3人の作家を紹介いたします。

目に見えない、しかしながら「ある」という感覚を銅版画で描こうとする箱山 朋実、無意識の感覚や痕跡をスクラッチで表現する市ノ澤 萌々子、「感覚の鈍くなる空間」をつくりたいと話す亀倉知恵。

彼女達が共に語る「感覚」-目に見えない「何か」について-の試みは表現する事へのプリミティブな眼差しであり、「それは何か?」を考えることは私たちの存在そのものを考えることでもあります。その根源的、原始的な眼差しをそのままに形に置き換えようとする彼女達はひょっとすると「ラグランジュポイント」としての魅力そのものかもしれません。

彼女達が探求する『目に見えない「何か」』について思考する機会になればと考えています。

(大崎 のぶゆき/美術家)

※ラグランジュポイント/天体力学で円制限三体問題の5つの平衡解。

Lagrangian point -To Form-

市ノ澤 萌々子 亀倉 知恵 箱山 朋実

主催・企画:愛知県立芸術大学 大崎研究室

オーガナイズ:大崎のぶゆき(愛知県立芸術大学准教授/美術家)

協力:Gallery PARC

2016年2月9日[火]~2月21日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで



市ノ澤 萌々子 《Chacha》

2015 oil,canvas,tablecloth,table 1000×1200×700mm



亀倉 知恵 《夢の中》

2015 泥、木材、風船、工具 2000×2000×600mm



箱山 朋実 《メモの練習》

2015 アクアチント、エッチング、ドライポイント、紙、インク 365×365mm

ギャラリー・パルクでは、2016年2月9日[火]から21日[日]まで、愛知県立芸術大学 大崎研究室の主催・企画による「Lagrangian point -To Form-」展を開催いたします。

本展は愛知県立芸術大学油画専攻の在学および卒業生による展覧会として、同大学准教授を務める美術家・大崎のぶゆきにより企画されたもので、日本の中間地点「愛知」という場所を「ラグランジュポイント」と名付け、そこに浮かび上がる表現から彼らの思考や視点を知り、考察を進める試みとなります。

この「Lagrangian point」は、Gallery PARCの会場提供による大学協力展として開催されるもので、2014年、2015年に引き続き3回目となる今回は、その副題を「トゥー・フォーム」として絵画や版画、インスタレーションを展開する3人の作家を紹介します。

それぞれの作家はいずれも目に見えない「何か」にまつわる興味に基づき、絵画・版画・インスタレーションなどの異なるアプローチから、ひとつのカタチを提示します。その根底にある「それは何か?」という眼差しであり、私たちにとっての根源的な問いへも重なるものだといえるのではないのでしょうか。

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[info@galleryparc.com]迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 **Lagrangian point -To Form-**

出展作家 **市ノ澤 萌々子 亀倉 知恵 箱山 朋実**

会 期 **2016年2月9日[火] — 2月21日[日] 11:00~19:00**
*月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

料 金 **無料**

会 場 **Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]**
〒604-8082 京都市 中京区 三条通 御幸町 弁慶石町 48
三条ありもとビル [グランマーブル] 2F

主 催・企 画 愛知県立芸術大学 大崎研究室
オーガナイズ 大崎のぶゆき(愛知県立芸術大学准教授/美術家)
協 力 Gallery PARC

ア ク セ ス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分。
地下鉄東西線都市役所前駅より徒歩3分。
三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

問 い 合 わ せ **Gallery PARC (正木・永尾)**
【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com

Lagrangian point

-To Form-

市ノ澤 萌々子 亀倉 知恵 箱山 朋実

主催・企画:愛知県立芸術大学 大崎研究室

オーガナイズ:大崎のふゆき(愛知県立芸術大学准教授/美術家)

協力:Gallery PARC

2016年2月9日[火]~2月21日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

市ノ澤 萌々子 / Momoko Ichinosawa

1992年 大阪府生まれ

2015年 愛知県立芸術大学 美術学部油画専攻 在学中

感じたことを感じたままに伝えることはとても難しい。

不安定な音程のボーカルにズンドコドラム、これが美しいのです。

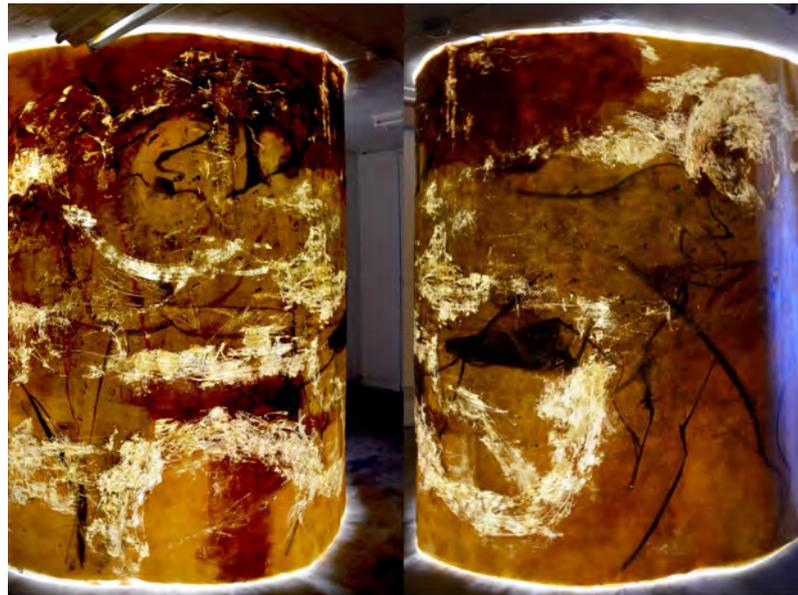
自分の考え方を理解してくれるのが同じ言葉話す人ではなく、全く別の話す人である場合もあるのかもしれない。

空想の世界から離れなければならなかった。苦しみのなかで穏やかな気持ちを取り戻すためにはそうする必要があったのだ。

空想は時の経過と共にこの世から完全に消えてしまうわけではない、無意識といったかたちで常にどこかに潜んでいる、空想のドキュメンタリー。



[1]



950×850×500mm

[2]



[3]

【1】
Buddha
lacquer, urethane foam, clay, rope, wood, light
950×850×500mm
2015

【2】
dog run
oil, canvas, light
size variable(2100×3700mm)
2015

【3】
drawing-birthday party
stain of the meal, cloth
950×1830mm
2015

Lagrangian point

-To Form-

市ノ澤 萌々子 亀倉 知恵 箱山 朋実

主催・企画:愛知県立芸術大学 大崎研究室

オーガナイズ:大崎のぶゆき(愛知県立芸術大学准教授/美術家)

協力:Gallery PARC

2016年2月9日[火]~2月21日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

亀倉 知恵 / Chie kamekura

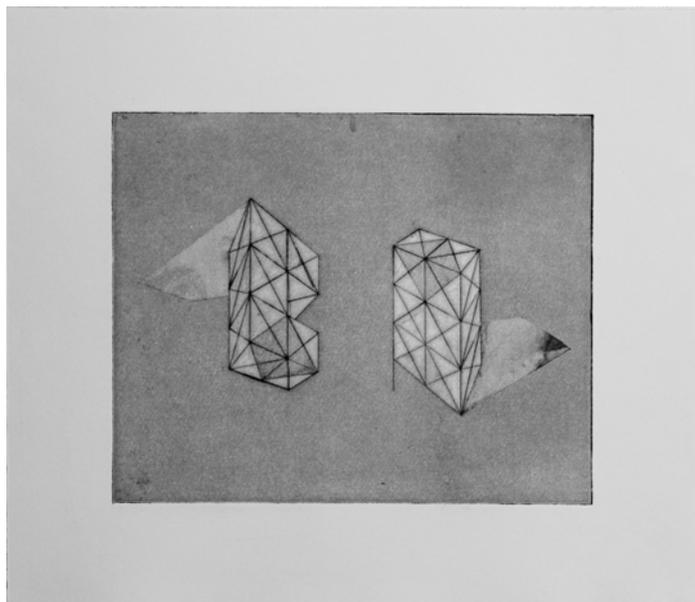
1992年 新潟県生まれ

2013年 愛知県立芸術大学美術学部入学

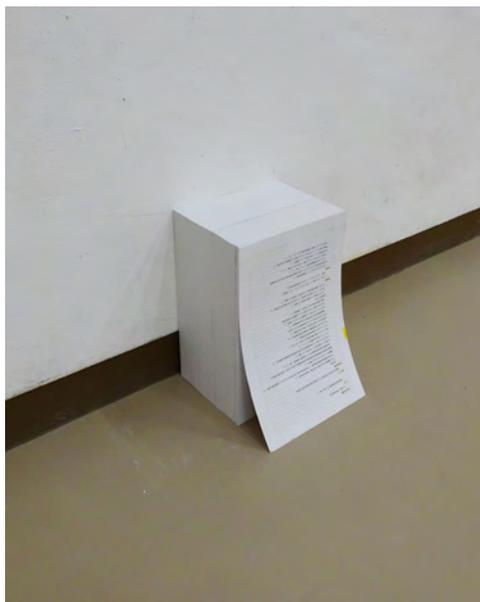
2015年 公募展TETHUSON2015(3331Arts Chiyoda/東京)

現在 愛知県立芸術大学美術学部油画科3年在籍

感覚が機能しなくなるような鈍くなる空間を作り出したい。「感覚の鈍くなる空間」とは、例えば雪壁やダム、巨大な砂山などの前に立ったとき、物質のあり方に圧倒される瞬間のことである。またこの空間は時に蛍光灯に照らされた植物の生々しい緑に出会ったときのような、非日常以外の場でも似たような感覚に出会うことがある。場と物質から作られる空間の関係性を、作品を通じて探っている。



【1】



【2】



【3】

【1】
箱

紙、インク H200×W250mm (銅版画)

【2】
no title

A4コピー紙 D160×W210×H297mm (立体)

【3】

Line of moss

苔、水 H4000×W37000mm (インスタレーション)

Lagrangian point

-To Form-

市ノ澤 萌々子 亀倉 知恵 箱山 朋実

主催・企画:愛知県立芸術大学 大崎研究室

オーガナイズ:大崎のぶゆき(愛知県立芸術大学准教授/美術家)

協力:Gallery PARC

2016年2月9日[火]~2月21日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

箱山 朋実 / Tomomi Hakoyama

1990年 愛知生まれ

現在 愛知県立芸術大学大学院美術研究科 油画・版画領域 二年在籍

[主なグループ展]

2015年 「オバケに100回触れてみる」愛知県美術館ギャラリーJ室/愛知、florist_gallery N/愛知

.. 「第40回全国大学版画展」町田市立国際版画美術館/東京 収蔵賞

.. 「第9回 大学版画展 受賞者展」文房堂ギャラリー/東京

.. 「2015~」愛知県立芸術大学芸術資料館/愛知

.. 「INDIRECT'15」愛知県立芸術大学サテライトギャラリー /愛知

2014年 「第39回全国大学版画展」町田市立国際版画美術館/東京 収蔵賞

.. 「~2014」愛知県立芸術大学芸術資料館/愛知

2013年 「第38回全国大学版画展」町田市立国際版画美術館/東京

.. 「plat form」名古屋市民ギャラリー-矢田/愛知

.. 「交差する版画2013」名古屋造形大学D1,D2,D3ギャラリー/愛知

2012年 「460人展」名古屋市民ギャラリー-矢田/愛知

[パブリックコレクション]

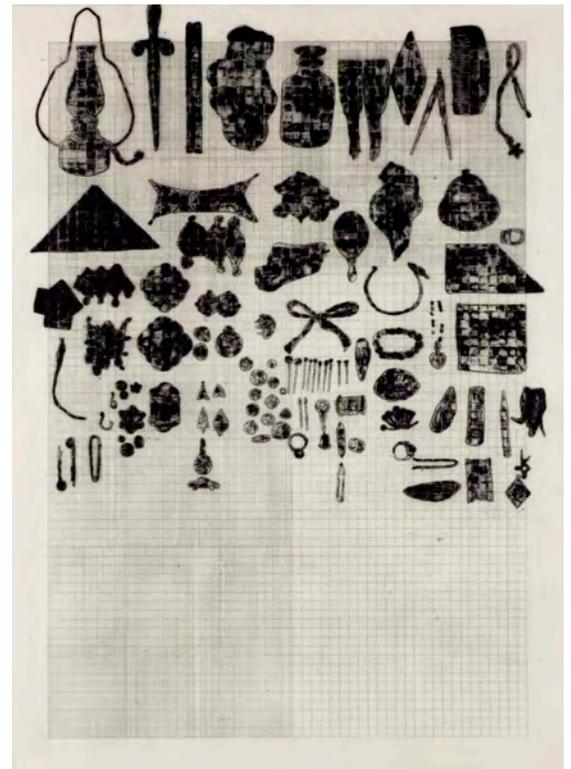
町田市立国際版画美術館

目に見えないけれど"ある"と直感し、そしてそれが大切なものだ知っている。それを人に伝えたいのに言葉ではうまく説明できず、またささやき声のようにさりげないためにいつの間にか忘れてしまう。そんな事柄をなんとかして記録したいと考えています。作品を作るということを通してならばその方法を見つけ出せるのではないかと考え、制作しています。

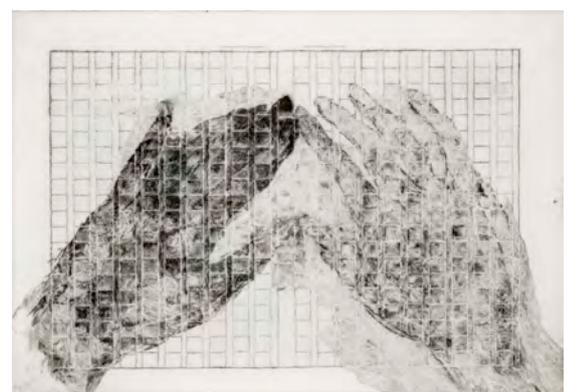
それ、はまるでオバケのようです。目に見えないだけではなく、よくわからないからです。私が"ある"と感じるということは、あなたにも"ある"と感じてもらえるかどうかかわからない。そもそも、私の中の秤が"ある"ものことだけを"ある"と感じ取っているのか疑わしい。本当に"ある"のかよくわからないのです。私は、このわからなさをするだけ誠実に観察し、私が何をわかっていて何をわかっていないのか知りたい。そして、このオバケに血や肉をあげて体を作ってやりたい。このオバケへの親しみをなんと言ったらいいかわかりませんが、生き生きとしたその姿を見たいと思います。



[3]



[1]



[2]

[1]
話のさわり
ドライポイント 紙、インク 210×297mm
2015

[2]
オバケを100回触る
エッチング、カーボラダム 紙、インク 852×603mm
2014

[3]
小説
銅版 紙、インク 260×1040cm
2015

(1枚の銅版から摺られた銅版画100枚を壁面に並べて展示)